

【 目次 】

1. はじめに
2. トピックス
3. 山梨県新型コロナウイルス感染症発生状況
4. 終わりに
5. 新着情報



1. はじめに

拝啓、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より市立甲府病院へ患者さんをご紹介いただきましてありがとうございます。

今月のトピックスは当院の「循環器内科」です。緊急性の高い疾患だけではなく、慢性期疾患の急性増悪についても積極的に対応しています。救急受入数も増えており、他職種と協働しチーム医療を実践しています。なお、今までは「循環器疾患救急患者ホットライン受入れ」を行っていましたが、救急受入れに関して現在は他の診療科と同様の受入れ体制となっています。ご理解とご協力をお願いいたします。

2. トピックス

【 循環器内科のご紹介 】

市立甲府病院循環器内科 齊藤 幸生

平素より地域の先生方には患者さんのご紹介や退院後の診療など大変お世話になっており、感謝申し上げます。

市立甲府病院循環器内科では沢登副院長を筆頭に循環器専門医・カテーテルインターベンション学会認定医の瀧島医師、後期研修の河合医師、鈴木医師とインターベンション学会専門医の齊藤の 5 人で診療を行っております。山梨大学医学部附属病院や山梨県立中央病院のように人工心肺補助装置（ECMO）などの循環補助デバイスは所有しておりませんが、急性心筋梗塞・不安定狭心症などの虚血性心疾患、不整脈、うっ血性心不全などの緊急処置を要する循環器疾患一般に対応しております。

虚血性心疾患で安定している症状では運動負荷心電図やHolter 心電図での評価に加えて、心臓CTでの冠動脈評価でより感度・特異度の高い評価を行っております。最終的には入院での心臓カテーテル検査で診断を行い、薬物治療以外にカテーテル治療やバイパス手術が必要かどうか判断しております。不安定狭心症が疑われるような状態であれば準緊急でのカテーテル検査も対応しています。

足の狭心症である下肢動脈硬化症のカテーテル治療も積極的に行っております。虚血性心疾患症例の半分程度に下肢動脈閉塞が合併しているといわれており、ABI検査（足首と上腕の血圧の比）で積極的にスクリーニングを行い、CTや下肢動脈造影での診断、治療につなげています。下肢動脈閉塞の主な症状は歩行時の下肢痛です。もしそのような症状をお持ちの方がおられましたら、一度ご評価をご検討いただければと思います。

洞不全症候群、房室ブロックなど徐脈性不整脈についてはペースメーカ植え込み手術を行います。この6月からリードレスペースメーカ（全長2.5cm、容積1mlのペースメーカ本体のみを右室内へ留置するペースメーカ、図参照）植え込みも可能となりました。症例は限られますが、リードレスペースメーカ植え込みのメリットが大きい症例には積極的に適応していきたいと考えております。

カテーテルアブレーションなど当院で完結できない治療もごさいますが、なにか心臓・血管でお困りのことがあれば可能な限り対応したいと思いますので、ぜひご相談ください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



### 3. 山梨県新型コロナウイルス感染症発生状況

- ・山梨県ホームページ 新型コロナウイルス感染症5類移行について  
<https://www.pref.yamanashi.jp/kansensho/corona0508.html>
- ・やまなし感染症ポータルサイト（発生状況、統計情報等）  
[https://www.pref.yamanashi.jp/kansensho\\_portal/index.html](https://www.pref.yamanashi.jp/kansensho_portal/index.html)

#### ～当院の面会についてご案内～

現在新型コロナウイルス等感染症予防のため、面会制限中です。

- ① 面会できる方は面会許可者リストに記載されている方のみとなります。ただし、中学生以下の方は面会禁止です。
- ② 患者さんお一人につき、1日に面会できるのは1組（2名まで）です。
- ③ 面会は1回に15分以内とさせていただきます。
- ④ 面会時間は平日の14時～17時のみです。土日、祝日は面会禁止です。
- ⑤ 過去7日以内に新型コロナ感染症を疑う症状がある方は面会禁止です。
- ⑥ 面会前に、病棟入り口の面会簿に氏名等の必要事項を記入してください。

### 4. 終わりに

- ・2024年11月8日（金）に地域医療連携勉強会をオンライン開催する運びとなりました。今年度は北杜市立甲陽病院 院長中瀬一先生をお呼びし「低栄養問題と栄養管理の重要性」と題してご講演していただきます。詳細は後日ご案内します。

